

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2018-103019(P2018-103019A)

【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-025

【出願番号】特願2018-72837(P2018-72837)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月17日(2018.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技島に設置される外枠に開閉自在に軸支されるとともに遊技盤が装着され得る前面枠と、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、を備える遊技機であって、

前記遊技盤は、

検出面から所定距離内に設定される検出領域における異常な磁気の発生を検出する異常磁気検出手段

を備え、

前記異常磁気検出手段は、

電源投入時に外部からの要求信号が入力されたか否かにかかわらず当該異常磁気検出手段の周囲環境における磁気状態を基準に設定可能な第1の基準設定制御手段と、

前記外部からの要求信号が入力されたことに基づいて当該異常磁気検出手段の周囲環境における磁気状態を基準に設定可能な第2の基準設定制御手段と、

当該異常磁気検出手段の検出面から前方側の検出領域の大きさを設定可能な検出領域設定制御手段と、

を少なくとも有し、

前記異常磁気検出手段の検出面からの検出領域は、前記遊技盤に設けられた遊技球入球部と、該遊技球入球部に入球しなかった遊技球を当該遊技盤から排出するための排出部と、を含むことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(解決手段1)

遊技島に設置される外枠に開閉自在に軸支されるとともに遊技盤が装着され得る前面枠と、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、を備える遊技機であって、前記遊技盤は、検出面から所定距離内に設定される検出領域における異常な磁気の発生を検出する異常磁気

検出手段を備え、前記異常磁気検出手段は、電源投入時に外部からの要求信号が入力されたか否かにかかわらず当該異常磁気検出手段の周囲環境における磁気状態を基準に設定可能な第1の基準設定制御手段と、前記外部からの要求信号が入力されたことに基づいて当該異常磁気検出手段の周囲環境における磁気状態を基準に設定可能な第2の基準設定制御手段と、当該異常磁気検出手段の検出面から前方側の検出領域の大きさを設定可能な検出領域設定制御手段と、を少なくとも有し、前記異常磁気検出手段の検出面からの検出領域は、前記遊技盤に設けられた遊技球入球部と、該遊技球入球部に入球しなかった遊技球を当該遊技盤から排出するための排出部と、を含むことを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】